科目名	ドイツ語(German)						
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第4学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	学修	2 単位	選択	講義	通年 100分/週	90 時間
担 当 教 員	【常勤】 高橋正和						

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	ドイツは、科学技術や哲学思想だけでなく、音楽、文学などでも豊かな文化を作り出してきた。ドイツ語を知ることで、その文化にじかに触れることができる。英語の知識を使えば、ドイツ語はその母親のようなものだから、1年間の授業でそのアウトラインまで理解できるようになる。ドイツ語の基礎を学んで、広くて奥の深いドイツの世界を楽しみましょう。 (1)文章が読めるようになること。 (2)文法の基礎を理解できる。 (3)「読む･聞く･話す･書く」能力の基本を養うことができる。

学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)	(f)

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材

関連科目	
教科書	「DVD わかるぞドイツ語！みえるぞドイツ語！」 春日･松澤･シュレヒト著 (朝日出版社)
補助教材等	辞書「ドイツ語の学習辞典」 根本道也編著 (同学社)

達 成 度 評 価 (%)

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	10	10					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎	◎	◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】									
汎用的技能 【 読解、作文 】	◎	◎							
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									

学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言

日々の習熟による慣れが、語学の習得には欠かせない。復習用の課題練習をそのつど提出し、また授業の前、10分程度でいいので復習を怠らないこと。最初は、単語や文章が読めるようなることに努力することが大切である。
なお、テキストといっしょに、辞書は必ず持参すること。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	はじめに	オリエンテーション、ドイツ語の歴史、日本語になっている身近なドイツ語を学び知ることができる。	発音練習用課題を提出すること。
2	発音練習（1）	母音、変母音についてその基本に従って、正確に発音できる。	発音練習用課題を提出すること。
3	発音練習（2）	子音の特殊な読みを知り、日常よく使われる挨拶のことば、数詞をスムーズに読めるようになる。	発音練習用課題を提出すること。次回発音テストを行う。
4	第1課　動詞（1）	動詞の人称変化の基礎を理解できる。	発音テストを行う。動詞変化の課題を次回提出。
5	第1課　動詞（2）	ドイツ語文章の基本構成（定形1位と2位）を学び、文章を書くことができる。	文の構成の課題を課す。
6	第2課　（1）重要動詞の変化	最も頻度の高いseinとhabenの不規則変化を運用できる。	seinとhabenの課題を練習し、その使い方になれる。
7	第2課　（2）名詞の性と数	名詞の基本要素（性と数）を理解できる。	複数名詞の課題を課す。
8	中　間　試　験		
9	第3課　名詞の格と冠詞	中間試験の解説を行う。名詞の4つの格と冠詞との関係を学び、運用できる。	格変化の課題を課す。次回名詞のテストを行う。
10	第3課（続き） 第4課　不規則動詞と命令法	定冠詞と不定冠詞を名詞と共に、正しく格変化できる。 不規則動詞の特殊変化を学び、人称変化できる。	不規則動詞変化の課題を課す。
11	第4課　不規則動詞と命令法	命令法を理解できる。ここまでの文法と表現の総合演習を行う。	冠詞の復習課題を課す。
12	第5課　冠詞類	冠詞類の変化の基本を理解し、運用できる。	プリント課題を次回提出。
13	第5課　指示代名詞・疑問代名詞	指示・疑問代名詞を学習し、疑問文の表現ができる。	テキストの課題を課す。
14	第6課　人称代名詞	人称代名詞の格変化を理解できる。前期末試験の要点を解説する。	テキストの課題を課す。
	前　期　末　試　験		
15	試験返却・解答解説	試験の解説を行う。ここまでのまとめをおこなう。	夏季休暇レポートを課す。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
16	第6課　前置詞の格支配	前置詞の格支配を理解し、様々な表現が実際にできる。	テキストの課題を課す。
17	第7課　話法の助動詞	助動詞の使い方を理解し、表現できる。	テキストの課題を課す。
18	第7課　未来形　接続詞	未来形の表現を学び、接続詞を使った文の構成を理解し、運用できる。	テキストの課題を課す。
19	第8課　分離動詞・再帰動詞	分離動詞と再帰動詞の基本を学び、表現を理解できる。	テキストの課題を課す。
20	第9課　形容詞	形容詞の格変化は、これまでの変化の総復習ともなるので、基本を確認しつつ、日常的な表現の運用ができることをめざす。	テキストの課題を課す。
21	第10課　動詞の3基本形　過去変化	3基本形を学習し、過去人称変化ができるようにする。	テキストの課題を課す。
22	第11課　完了形	特に現在完了は、日常会話で多用される重要な表現なので、基本を理解し、実践的な表現ができるようにする。	まとめのプリントを提出する。
23	中　間　試　験		
24	第12課　関係代名詞	中間試験の解説を行う。 関係代名詞の文法的事項を英語と比較しつつ、その理解を確実にできる。	テキストの課題を課す。
25	第12課　関係代名詞	関係代名詞を用いた様々な表現ができるようになる。	テキストの課題を課す。
26	第13課　比較　現在分詞	比較表現、分詞の使い方に慣れ、表現できるようになる。	テキストの課題を課す。
27	第13課　zu　不定詞	zu不定詞の表現法を理解できる。	テキストの課題を課す。
28	第14課　受動	受動表現の問題点を理解し、表現できる。	テキストの課題を課す。
29	第15課　接続法	英語の仮定法を基にして、特に非現実話法の表現を理解できるように目指す。	まとめのプリントを課す。
	学年末試験		
30	試験返却、授業アンケート	試験返却と解説を行う。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講　　義			50 時間
自学自習			40 時間